



# 2020年度 スペイン語スピーチコンテスト (オンライン)

外国語学部スペイン語学科

2020年11月26日(木)にスペイン語学科スピーチコンテストが行われました。コロナウィルス感染拡大のため、今年度は初めてのオンライン開催となりましたが、スペインからの来場者も含め70名以上が参加しました。コンテストは、暗唱や1分半のスピーチを発表する1~2年生向けのCategoría Aと、3分間のスピーチと質疑応答からなるCategoría Bの2部門に分かれており、合わせて12名の学生が日頃の学修の成果を発表しました。以下に参加学生たちの感想をご紹介します。

## スペイン語スピーチコンテストの感想

Categoría A (5名順)

青木亜寿香 Aoki Asuka

**Cambio Climático y Justicia 気候変動と正義**

私は、今回のスピーチコンテストで、気候変動について話しました。高校では英語、日本語で何度もプレゼンやスピーチを行ってきました。しかし、習い始めて半年しか経ってないスペイン語で社会問題について話すのはボキャブラリーがとても難しく、スピーチを暗記するのにとても苦労しました。しかし、スピーチの原稿を作って、言いたいことをスペイン語で表現していくうちに、授

業ではまだ習っていない文法、活用を覚えたりと多くのことを学んだとても良い機会になったと思います。

小澤遥 Ozawa Haruka

**El milagro de las rosas バラの奇蹟**

私が今回のオンライン開催スピーチコンテストに出場しようと思った理由は、スペイン語の発音を上達させるためのきっかけを作れたからです。

授業の先生方は、リモートであるにも関わらず本当に熱心にスペイン語を指導してくださいます。しかし、今年入学したばかりで直接お会いして教わるのが一度もなかったことから、発音を意識して勉強することが私には出来ませんでした。そうして半年を過ごし、このままではダメだと考えていた時にスピーチコンテストの案内が届き、参加することを決意しました。参加を決めた後で失敗することへの不安を感じていましたが、それも経験だと前向きに捉えて本番まで練習を繰り返しました。

コンテストを通して自分のスペイン語はまだまだであると痛感できました。そして頂いた賞が、これからもっとスペイン語を頑張りたいという活力になりました。この経験を原動力に、今後も

積極的に様々なことに挑戦したいと思います。スピーチの発音や読み方の指導をしてくださった先生、ずっと応援してくれていた家族と友人に心から感謝しています。

**田邊夢桜 Tarabe Yumi**

**El fracaso es prueba del esfuerzo**

**失敗は努力の証**

私は今回、失敗は努力の証というスピーチをさせていただきました。いつもやらないで後悔している自分を変えようと思いコンテストに参加し、その経験に関する話をしました。結果、今回の挑戦は自分の自信につながるとも良い経験になったと思います。また、普段関わりのない先輩方、同じ一年生のスピーチを聞き、より一層スペイン語学習を頑張っていきたいという気持ちになりました。今年はオンライン開催、来年はどうなるか分かりませんが、どんな形でもぜひまた参加したいと思っています。

**廣田明子 Hirota Akiko**

**Mi familia 私の家族**

私は最初スピーチコンテストを出場するかどうかすごく考えました。まだスペイン語を習って半年なのに、自分で原稿を考えて、テーマも考えなければならなかったため、私には不可能だと思い、諦めかけていました。しかし19歳を迎えた時に、この1年は、様々なことに挑戦すると目標を立てました。その事を思い出し、申込締め切りの3日前に急遽、無理だとしても、とりあえず原稿を考えてみようとして紙にひたすら文章を書きました。そ

の後、教科書と辞書を見てスペイン語の文章を組み立て、締め切り当日ギリギリに申込（原稿提出）をしました。

その数日後、採用メールが来て、そこからスピーチコンテスト当日まで必死に練習しました。

梅崎先生との練習の成果もあり、当日、囁むことも忘れることもなく全力を発揮して発表することができました。

このように大変な日々でしたが、その分達成感もあり、2位という素敵な賞をいただけ、とても嬉しかったです。先生方にも素晴らしいの感想をいただき、最後まで温かく見守っていただいたため幸せでした。

すべての方々に感謝しております。ありがとうございます。私にとって忘れられない思い出になりました。

**Categoría B (50音順)**

**岡本紗弥花 Okamoto Sayaka**

**El impacto de los videojuegos ゲームの影響**

オンライン授業によって通常の授業よりスペイン語を話す機会が減っていたため、練習を始めたときは思っていたより読めなくて焦りました。人前で話すことが苦手なので、一年生の頃は絶対に出来ないと思っていたイベントでしたが、オンライン開催ということもあり、通常より出やすかったです。緊張しましたが、質疑応答はグダグダになってしまったけれど、スピーチコンテストを通してスペイン語に向き合うことは良い経験になったと

思います。

**田口廉 Taguchi Ren**

**Competición por la sede de las Olimpiadas**

**オリンピック開催都市のコンペティション**

私は今回、2020年のオリンピック開催地決定までに、候補3都市がどのように招致を行ったかについて話しました。そこで最も意識したのは3都市の比較です。例えば内容で言うと、最初に3都市の名前と特徴を挙げて、その後1都市ずつ抱える問題とアピールポイントを詳しく紹介していきました。また発表の際には1つの文でも3都市それぞれしっかり区切って話すことで、対比の効果を狙いました。スピーチで最も重要な点は、聞き手が聞き終わった後にどれだけ強い印象が残っているかだと私は思うので、各都市それぞれにスポットライトが当たるように伝えることを意識しました。今後も人に自分の意見を伝える際に、聞き手の立場に立って話すことを大切にしていきたいと思っています。

**中野結美子 Nakano Yumiko**

**¿Los sustantivos japoneses tienen género?**

**日本語の名詞における性別の有無**

スピーチコンテストに際して、当初は参加の意向はなかったのですが、音読練習や発表を通して改めてスペイン語と向き合う貴重な機会になりました。このような状況下でもオンラインで開催していただいたことに感謝すると同時に、この経験を踏まえて今後より一層スペイン語の学習に励んでいきたいと思っています。

西中奈々 Nishinaka Nana

Los cambios de la vida cotidiana en tiempos de pandemia バンデミックにおける日常生活の変化

私は今回のスピーチコンテストで、コロナ禍の日常について話しました。一番身近な話題で、観客の方々も理解しやすい内容かなと考えたからです。内容を自分で考え、その内容を覚える、発音に気を付け、先生方にも発音や読み方の指導をしていただく。この経験はスペイン語学習においてとても貴重な経験になったと思いました。自分のスキルや自信にもつながりました。今年はいろんなことが制限され、大学の友達や先生方にも会うことができませんでしたが、今年ならではのスピーチコンテストに出場することができてとてもよかったです。

藤村七海 Fujimura Nanami

Navidad durante la pandemia コロナ禍のクリスマス

今回のスピーチコンテストはオンラインで行われたので、あまり緊張はしませんでした。そのため落ち着いて話すことができ、内容を忘れしてしまうこともありませんでした。しかし反対に、オンラインで行われるがゆえの難しさもありました。それはアイコンタクトやジェスチャーです。発表者はカメラを見る必要があるため、周りの表情が見えず不安でした。ジェスチャーは自分とパソコンまでの距離が近いので、あまり映らず意識することも少なかったです。他の方の発表で、少しカメラを遠ざけてジェスチャーを取り入れている方がいました。彼女たちの発表はより感情が伝

わりやすかったもので、これからオンラインで発表をする際の参考にしたいと思いました。

武藤真愛佳 Muto Manaka

La importancia de los dialectos 方言の重要性

今回のスピーチコンテストでは、方言をテーマにして発表しました。地方出身である私ながらのテーマ選びが出来て良かったと思います。今回のコンテストはオンラインでの開催となり、皆さんの前で発表するときとは違う発表の難しさがあり、発音や抑揚に加えて表情にも気を配り発表することを心がけました。質疑応答の時に上手く答えられず、自分の発表に納得のいく内容ではなかったのですが、受賞させていただくことができ自信も持つことが出来ました。これを機にさらにスペイン語学習に力を入れてきたいです。

山口凜 Yanaguchi Rin

Mi primer viaje al extranjero 私の初めての海外旅行

私は今回のスピーチコンテストで自分のコロナ禍での留学経験を話しました。自分の主張をスペイン語で伝える貴重な機会に私は自分だから話せることをスピーチしたいと思い、このテーマを選びました。大変な状況の中で感じた事を自分の言葉で聞いてくださった皆さんに伝えられたと思います。

オンラインでの開催という初めての試みでしたが、例年と変わらない緊張感と本番に向けて練習をしていく中で感じる上達することの楽しさを味わうことが出来、参加して良かったなと思いました。

山田菜摘 Yamada Natsumi

Variedad del español スペイン語の多様性

私は昨年9月から3ヶ月間スペインのアリカンテに留学し、その当時から6月にセレストホルの舞台に立つてスピーチすることを帰国後の目標の一つとしていました。結果としてはオンラインでの開催という異例の会となりましたが、そのおかげで留学中にお世話になったスペインの方々や、他県に住む友人にも観てもらうことができました。

私が今回扱った「スペイン語の多様性」というテーマはとても大きく、難しい問題でしたが、このスピーチコンテストを通して、発音や抑揚などの話し方のみならず、これまでスペイン語学科で学んできたことや、留学中の体験を振り返り、アウトプットすることができたと感じています。今後この経験を糧にさらなる成長をしていこうと思います。

## 2020年度スペイン語学科 スピーチコンテスト受賞者

### Categoría A

- |         |            |
|---------|------------|
| 1位      | 田邊夢桜 (1年)  |
| 2位      | 廣田明子 (1年)  |
| 3位 (同点) | 青木亜寿香 (1年) |
|         | 小澤遥 (1年)   |

### Categoría B

- |    |            |
|----|------------|
| 1位 | 山田菜摘 (3年)  |
| 2位 | 武藤真愛佳 (3年) |
| 3位 | 西中奈々 (3年)  |

その他、審査員特別賞、観客が選ぶ特別賞などが授与されました。